



輝け、大越っ子

《かしこく・やさしく・たくましく》 発行 日 平成 29 年 1 月 11 日
発行責任者 校長 根内 喜代重

第 21 号

福島県田村市立大越小学校

正しい生活のリズムを取り戻そう！

～強い意志と周囲の応援で～

大越っ子 186 名の笑顔と元気が新しい学舎に戻ってきました。やっぱり、子どもたちがあってこそこの学校です。

新校舎での生活も 7 ヶ月に入りましたが、校庭や取り付け道路などの工事は、平成 30 年 2 月いっぱいかかる予定です。これからも子どもたちの安全安心の確保を第一に、一人一人がよりよい学びができるよう教職員一丸となって頑張っていますので、保護者や地域の皆様には、今後とも子どもたちを温かく見守り、ご指導いただきますとともに、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、子どもたちは、それぞれの目標を持ち、楽しく充実した冬休みを過ごすことができたと思いますが、年末年始の特別な行事などにより、いつもとは違った生活リズムの日もあったことと思います。望ましい学校生活のスタートには、正しい生活習慣の確立が欠かせません。1 月下旬には、学力テストもあります。子どもたちが強い意志をもって生活リズムを取り戻し、しっかりと勉強したり、友だちと仲良く遊んだりできるようご家族の皆様の叱咤激励をよろしくお願いいたします。

なお、子どもたちへは、次のようなことを話したので紹介します。



【冬休み明けの全校集会】
明けまして、おめでとーございます。
みなさんと新しい年を迎え、また一緒に勉強できることをとてもうれしく思います。みんな力を合わせて、がんばる大越小学校をつくっていきましょう。がんばる大越小学校とは、次のような学校だと考えています。
笑顔と元気なあいさつが飛び交う学校です。田村小のルール 10 にも……。廊下を歩いていると、さわやかな歌声や音読などが聞こえてくる学校です。図書館にあるたくさんの本の読みたいですね。体育館や校舎のまわりでは、元気いっぱい運動する姿が見られる学校です。今朝も寒さに負けず、たくさんの方が走っていました。すばらしいですね。係や委員会の仕事を進んでやるなど、みんなが気持ちよく生活できるように頑張っている人がたくさんいる学校です。
そして、一人一人が瞳をきらきら輝かせて、真剣に勉強する学校です。
どんなに校舎が新しくても、がんばる学校にはなりません。がんばるみなさんいてこそ、がんばる学校なのです。
※冬休み前にお配りしました「こどもミューシカルワークシヨップ」について、興味のある人は、自分のよいところを見つけたり、自分を変えたりする一つのチャンスとして、お家の人と相談してみてくださいと話しました。



大橋健二・京子様ご夫妻より、ご寄付いただきました！

～本を読むことの大切さ、学校と家庭の連携による一層の読書推進を～

12 月 19 日（月）に来校された大橋健二様より、子どもたちの読書活動推進などに役立ててほしいと多額のご寄付をいただきました。

大橋様ご夫妻からは、平成 20 年度から 9 年間（下大越小学校 20 ～ 23 年度、大越小学校 24 ～ 28 年度）にわたり、毎年ご寄付をいただいております。長年にわたるご厚情に心から感謝申し上げます。

子どもたちには、冬休み前の全校集会の中で、「子どもの頃に本を読むことは、特に大切である。」「大越っ子たちが、未来を担うりっぱな人に成長してほしい。」などの大橋様ご夫妻の思いや願いを伝え、読書すること・勉強することの大切さを改めて確認しました。

これから学校図書館のいっそうの充実を図り、子どもたちのよりよい成長のため努力してまいりますので、ご家庭におきましても読書習慣を身につけるための励ましをよろしくお願いいたします。



◇ お願いです！

冬の時期、凍結や積雪などが心配されることから、登下校や放課後・休日の過ごし方について、次のような指導をしていますので、今後とも子どもたちの見守りやご指導をよろしくお願いいたします。

○ 交通事故防止

飛び出しはしない。道路では遊ばない。積雪や凍結時は自転車に乗らない。

○ 冬場の事故防止

川や池で氷すべりをしない。電柱や電線の近くでたこ揚げをしない。
火遊びやたき火はしない。屋根からの落雪にも気をつける。

○ 誘拐やわいせつ被害等の事故防止

知らない人についていけない・車に乗らない。
危険を感じたら大声で助けを呼ぶ・近くの家や商店へ避難する。



◎ 降雪(積雪)時には、子どもたちの通学路確保のため、可能な範囲で除雪等にご協力いただきますようお願いいたします。

「冬道の安全な運転について」

～教職員の服務倫理研修～

冬休み前、田村警察署大越駐在所 吉田 竜也 様（写真）をお招きして、「交通事故を起こした場合の処分・影響」や「雪道・凍結時の運転操作」などについて具体的にご指導いただきました。

加害・被害にかかわらず、交通事故が与える影響は多方面に及び、心労等も計り知れません。「交通ルールを守り、慎重な運転が心がけよう」という意識をいっそう高めることができました。

子どもたちへの教育活動をしっかり行うためにも、教職員の事故防止に万全を期してまいります。

